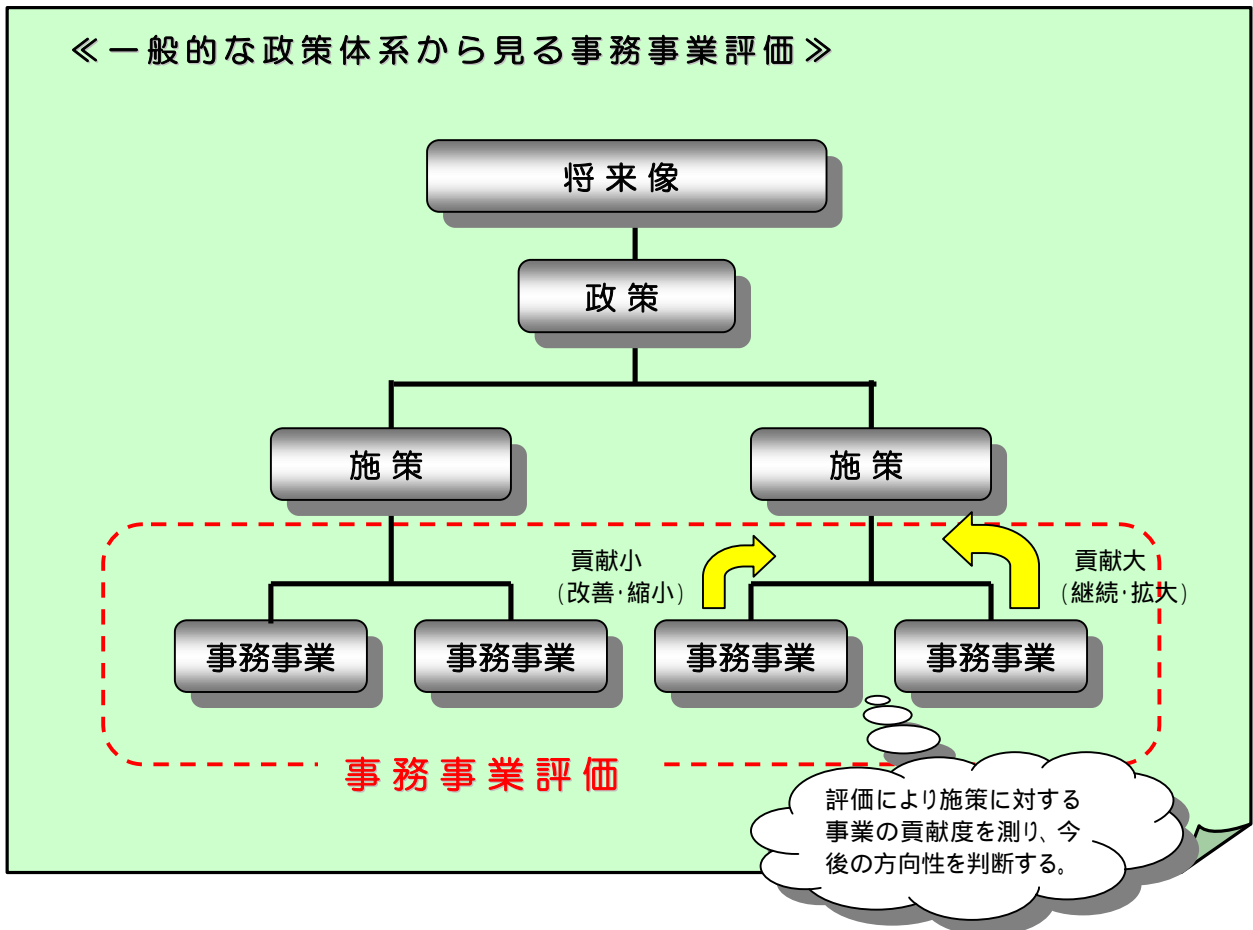


《一般的な政策体系から見る事務事業評価》



事務事業評価とは、各課の業務の基本単位である「事務事業」について、ニーズ、コスト、活動結果、成果、影響などの情報を整理・分析することにより、課題を発見し、「事務事業」に対する適時・適切な意思決定（改善・改革）を行うための仕組みです。

これにより、「事務事業」をPDCAサイクルの中で、職員が「管理（マネジメント）」することができ、そして、「事務事業」がその上位にある「政策・施策」に対してどれだけ貢献しているかを明確にすることにより、その「事務事業」の必要性、重要性が見えてくるようになります。

政策・施策は一度定めると根本的には止められないものです。問題を解決するためには、事務事業の取捨選択により貢献度・影響度を調整する必要があります。事務事業は、職員が止めようとするれば止めることができます。従って、職員による改善・改革が可能なのです。